

医療機関や医師会との連携で 確実に接種を進めています



本市では、新型コロナウイルスのワクチン接種を希望する市民が確実に受けられるよう、年齢を区切って予約と接種を進めています。6月下旬に12〜64歳までの人のクーポン券（接種券）を発送し、市内8か所で土・日曜日、祝日の集団接種もスタート。接種の加速を図ります。今回は、ワクチン接種に携わる医療機関の皆さんをお迎えし、お話を伺います。

医療機関との連携で体制を構築 週末の集団接種も開始

市長 本市の新型コロナウイルスのワクチン接種は、病院や診療所でそれぞれ受けていただく個別接種でスタートしました。7月末までに高齢者の接種を終わらせるという方針が国から示され、また11月中旬に希望者全員の接種完了をとの声もあります。市民の皆さんからも、早く接種を受けたいという

強い要望をいただいています。そのためさらに接種の加速が必要と考え、6月末から土・日曜日と祝日に、夜間も含めまちなかと支所地域の8か所で集団接種を行うことになりました。医療機関の皆さんには多大なお力添えをいただき、感謝申し上げます。まず高崎総合医療センターの小川先生、当初から新型コロナウイルスの陽性患者の受け入れなどを担っていただいています。ワクチン接種についてはどうですか。

小川 市内唯一の公的病院ですから、日頃から市民の健康は我々が守るという強い意識があります。ワクチン接種も率先して協力をと考えており、通常診療後の平日夜間と土・日曜日に実施を予定しています。

市長 医療スタッフの皆さんが非常に協力的でありたいことです。続いて日高病院の関原先生、民間病院の中核として、発熱外来の開設やPCR検査なども積極的に担っていただき、ありがとうございます。

関原 我々も地域への貢献という意識で取り組んでいます。ワクチン接種は平日の午後に行っており、今後は土曜



富岡 賢治市長
全市民が安心して確実にワクチン接種できる体制の構築に、全力を挙げる

日も対応する予定で人員を調整中です。研修医や薬剤師、事務職などみんなが高い意識でやってくれるので、助かりますね。

市長 皆さんの協力には本当に頭が下がりますよ。多くの個人病院も含め、200近くの医療機関が個別接種を引き受けてくださいました。さらに個別接種は難しくても、週末の集団接種なら対応できると手を挙げてくださる病院も多く、ありがたいことです。土屋先生、それぞれの医院の接種人数を倍増してくれるよう、医師会にはかなり無理なお願いをしました。正直難しいかと覚悟してはいたんですが。

土屋 先生方は皆さん非常に協力的でした。やはりワクチンはコロナ感染予防の切り札と考えていますので、なんとかスピードアップして接種を終えるしかないという思いなんです。医師会としては、予約業務を市で受け持っていたり助かっていますよ。個人医院では対応しきれませんから。

市長 市民の皆さんには予約の電話がつながりにくい時もあり、ご不便をおかけしました。回線を増やし、今はほ



小川 哲史さん
高崎総合医療センター院長。診療時間外の夜間と休日の接種に全職員で取り組む

んど解消されています。さて井戸谷さんは、黒沢病院で主に健康診断を担当する保健師さんだそうです。今はワクチン接種も担っていらっしゃるんですね。

井戸谷 健診業務の終了後に、接種業務に当たっています。接種を受ける人はいすに座ったままで、医師や看護師が巡回して接種する方式を取り入れるなど、高齢者への負担を減らせるよう意見を出し合っています。

市長 献身的な取り組みに感謝します。皆さんの協力のもと順調に進みます。本市では高齢者の約3分の1が1回目の接種を終えました。ほぼ全国平均のペースです。現在高齢者の予約率が75%ほどになり、7月末には接種を完了できる見通しが立ちました。



土屋 智さん
高崎市医師会理事。多くの医師の協力で、本市のワクチン接種体制を支える

も問題ありませんよ。

土屋 アナフィラキシーと言われる重篤なアレルギー症状が出るのは、20万人に1人です。新型コロナで亡くなるのは100人に1人ほどの割合ですから、感染時のリスクの方がはるかに恐ろしいですよ。安心して接種を受けていただきたいですね。

市長 そういったお話が聞けると安心しますね。井戸谷さん、接種会場でも不安を訴える方はいますか。

井戸谷 そうですね。接種前に必ず医師の予診があるので、心配な方は相談し、お話を聞いた後はほとんどの方が安心して接種されています。

市長 直接相談できると心強いですね。基礎疾患についてはどうですか。

市長 副反応の不安などから接種をためらう人もいますね。

関原 副反応で発熱やだるさといった症状が出る人は多いですが、通常のアレルギー体質という程度では接種して

小川 感染すると重症化のリスクが高いので、その方が良いと思います。

市長 ワクチンの有効性に懐疑的な人もいますが、世界的な傾向を見るとやはり効果はあるでしょうね。

土屋 非常に有効ですね。終息のためには市民の60%くらいは接種していただきたい。若い人にも積極的に受けて



関原 哲夫さん
日高病院院長。地域医療支援病院として、新型コロナ対応全般に携わる

供給に合わせ確実な接種計画で

市長 県も大規模集団接種をGメッセで開始しました。保育士などの職種を優先することでスタートしましたが、本市では職種による区分は設けず年齢を区切って予約を受け付けています。現在40代までの接種日程をお示ししました。30代以下は、国からのワクチン供給量の確定後に日程をお知らせします。自治体によっては確定を待たずに予約を進める場所もありますが、本市では確約が取れた段階で開始するので、もうしばらくお待ちください。接種の対象が12歳からになりましたね。

土屋 小児科学会は接種した方が良くという考えを示しています。どんな仕組みで行うかは難しいところですね。

市長 12歳というところですね。中



井戸谷 恵さん
黒沢病院附属ヘルスパーククリニック保健師。健診に加えワクチン接種業務も担当

学1年生です。接種を受けるかどうかは基本的には保護者の判断ですが、どうしたら良いか不安に感じているという方もいます。医師会なども相談し、早急にやり方を決めていきます。皆さんにご協力いただきながら進めていきますので、引き続きよろしくお願いたします。

小川 高崎総合医療センターでは、医師や看護師だけでなく臨床検査技師も接種できるよう、訓練をしています。最大で平日夜間に160人、土・日曜日合わせて1000人に対応する体制を整えています。

関原 当院では6月末から平日午後9時の枠をさらに広げ、一日300人体制を確保します。

井戸谷 私たちも7月からは平日400人、日曜日1000人に拡大する予定で、職員1丸となって日夜頑張っています。

土屋 国の急な方針変更にも対応できるように連携を密にして、この難局を乗り切らなければなりませんね。

市長 そうですね。改めて皆さんのご尽力に感謝いたします。本日はありがとうございました。

本対談は6月18日に行いました。新型コロナウイルス感染症対策を取り、参加者の皆さんの理解を得た上でマスクを外して撮影しています。

対談の様子を動画で「ご覧いただけます」